

令和7年度 第1回地域連携推進会議 議事録

事業所名	障害者支援施設 わかふじ寮
サービス種別	障害者支援施設(施設入所支援・就労継続支援B型)
所在地	北海道上川郡新得町
開催日時	令和7年9月10日(水)13:30～16:30
開催場所	障害者支援施設わかふじ寮 会議室
出席者	入所者1名・利用者のご家族1名・地域の関係者1名 福祉に知見を有する方1名・新得町役場保健福祉課職員1名 法人理事長1名・管理者1名・生活課長1名
議題内容	・出席者自己紹介 【議題1】地域連携推進会議について 【議題2】障害者支援施設わかふじ寮の事業と利用者の概要 【議題3】事業所の見学 【議題4】意見交換
【議題1】地域連携推進会議について	※厚労省資料「地域連携推進会議の概要」より抜粋 今年度より地域連携推進会議を設置する事が義務付けられた障害者支援施設並びに共同生活援助について対象者、サービス内容、施設規模、課題について説明。 地域連携推進会議の目的としては、地域との連携により利用者の権利擁護にもつなげていきたい。会議・施設訪問の開催スケジュールは、それぞれ年1回以上の開催が義務付けられている。 会議構成員の役割としては、事業所のことを知っていただき、施設と地域をつなげることを目的としている。
【議題2】障害者支援施設わかふじ寮の事業と利用者の概要	事業所の概要について ・居住環境・生産活動・利用者、職員の1日の流れなどの説明
【議題3】事業所の見学	居住棟・作業棟などの見学
(議題4)意見交換	【管理者】 意見交換を行います。ご意見や見学の感想などお話しいただきたい。 【家族会会長】 利用者が働きやすいような環境になるよう、職員が努力してくれているんだなと思いました。利用者それぞれ働き方や障害の程度も違います。息子もお世話になっていますが、年々体が動かなくなってきた、以前は軽作業棟でウエスの仕事をしていただけたけど、今は施設内の作業室で仕事をさせてもらっています。だんだん障害が進んでいくのを見ながら、お世話になっていると感じています。

【管理者】

建設された当初から作業室はありましたが、作業はしていませんでした。高齢化の波もあって、職住分離の考えもありますが、入所施設から働く場に通勤するという流れがあります。職員が引率はしますが、転倒の危険性もあるため、そういった方には施設内で仕事をしてもらう場所を設けています。

【家族会会長】

職員が少ないと思いますが、1～2 時間に 1 回は見回りして欲しいと思います。

【福祉課課長】

施設はとても素晴らしいので何も言うことはありません。ただ全国的な話として、この施設に限らず、授産施設の利用動向が将来どうなるかは気になります。今の障害を持った子どもたちは、小学校からインクルーシブ教育で一緒に学び、IT が発達すれば家で仕事をするようになるかもしれません。そうなった時、この施設の立ち位置がどうなるのか、まだ見えません。今はニーズがあり大事な施設ですが、将来形を変えた時に規模や形、ニーズがどうなるのかは気がかりです。

【管理者】

以前は入所待機の方や、聴覚障害の方も多くいました。最近は人工内耳の手術を受け、一般の方と同じ環境で生活する方も出てきています。

ただ、だからといって支援なしで健聴者と同じ環境でやっていけるかというと、そうでもありません。

さらに近年は発達障害を併せ持つ方が増えています。能力や IQ は高いけれど、社会的自立が難しい方が多い。衝動性や常識の理解不足などへの配慮も必要で、そういう方が増えているのが実情です。

【家族会会長】

障害の形が変わってきているんでしょうね。

人間には必ず突然変異があり、それは良い方向にも悪い方向にも出ます。科学が発達して減らせるかもしれませんが、遺伝子の組み合わせの偶然までは操作できないので、障害を持つ人はどんな時代にも一定数いるという前提で考える必要があると思います。

【町内会長】

近所付き合いの中で、利用者さんと新年会や忘年会などで顔を合わせます。施設の設備は素晴らしく立派ですし、地域の中での付き合いも良好です。利用者さんから愚痴を聞いたことはありません。

朝、通所の利用者さんが出勤する時や帰宅する時も挨拶を交わし、仕事終わりには充実した顔で帰ってきます。職場環境は悪くないと思います。

【管理者】

ありがとうございます。70 年以上新得にわかふじ寮があり、先人の努力や地域の皆さんの理解に支えられて、障害のある方が共に生活していても違和感がないということなのかなと感じます。

【福祉に知見を有する者】

私も新得生まれで、旧事務所時代から知っているだけに、今の姿を見ると感慨深いです。

ところで、新得高等支援学校の生徒は利用していないのですか。

【管理者】

今はいません。第 2 期卒業生が一度通所していましたが、1 年経たずに退所し、帯広に行きました。

【福祉に知見を有する者】

木工科の生徒は手先が器用で色々作っています。木工作業棟でも働けるのではないかと感じます。

【管理者】

支援学校の生徒については、学校側はまず一般就労を希望します。現場実習などを経て、難しければ福祉サービス利用という流れです。

厚生協会も人材難の状況もあります。正職員採用は難しいかもしれませんが、業務に合えばパートや短時間勤務での採用も可能性があります。

また、グループホームもありますが、働く場だけではなく、日々の相談やコーディネートを担う人材がいるとよりスムーズだと感じます。相談支援事業所はありますが、範囲が広く個別対応は弱い面があります。

【利用者代表】

施設内の道路が冬になると凍結の為、地面がデコボコになり歩きにくいです。近くのコンビニへの歩道もガタガタな箇所があり、平らだと良いのですが…。

【管理者】

今回初回ということで、皆さんに施設を見ていただき、ご意見を伺いました。次回は 1 年後、9 月頃に同様の形で開催したいと思います。近くなりましたら改めてご案内します。

以上で連携推進会議を終了します。本日はありがとうございました。